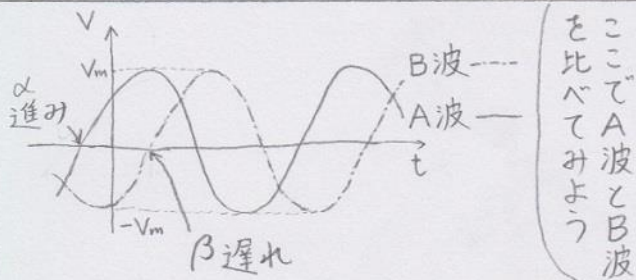


27. 位相と弧度法

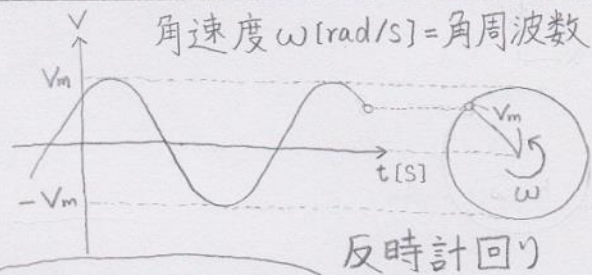


位相…



このタイミングも位相という

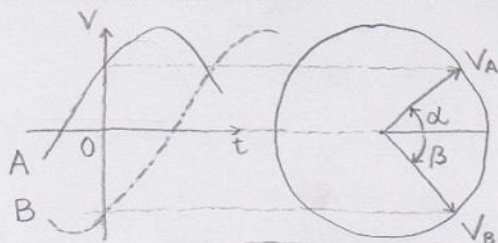
波形は同じだが、山や谷が来るタイミングが異なる



前ページの正弦波は、半径 V_m の円を角速度 ω で回転させて得られる



AはBより(α+β)進んでいる



位相を考えるには時間を止めてみる

$t=0$ [s] で止めると、右上の様な図が書ける



$$A \text{ 波: } V_A = V_m \sin(\omega t + \alpha)$$

$$B \text{ 波: } V_B = V_m \sin(\omega t - \beta)$$

この場合、A波はB波より位相が進んでいると言える

A波とB波は角速度が等しいので、位相の比較ができる



すなわちラジアン



試験問題はほとんどが弧度法になっている

60分法	弧度法
0°	0 [rad]
30°	$\frac{\pi}{6}$
45°	$\frac{\pi}{4}$
60°	$\frac{\pi}{3}$
90°	$\frac{\pi}{2}$
120°	$\frac{2}{3}\pi$
180°	π
360°	2π

で、位相の単位は何なの？



度でいいの？